

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

令和 7 年 7 月 吉日

各 位

軟弱地盤研究会（第 205 回）のご案内

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和 7 年 7 月 30 日（水） 14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室

（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）

<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>

駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話 題：真空圧密工法におけるリスクの軽減と適用前後の情報の積極的活用に基づく施工の合理化

講演者：錦城護謨(株) 土木事業本部 技術営業室 白神 新一郎 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

真空圧密工法は、「真空ポンプを使って水を汲み上げる」というイメージから、周辺地盤の地下水位低下や大きな変状の発生など、様々な懸念事項が挙げられる。本講演では、これら工法特有の懸念に対する対策を、実際の工事データや FEM 解析結果を用いて具体的に説明する。

また近年、バーチカルドレーンの施工において、事前調査・施工・動態観測の各段階で得られたデータを活用し、設計を逐次更新することで、合理的な施工を実現する取り組みが進められている。この取り組みは、真空圧密工法で懸念されるリスクを回避する手段としても有効であることから、具体的な事例を交えて紹介する。

※参加希望の方は 7/23（水）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容 (Kirekawa Toshihiro)

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地（公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603